



港区立白金小学校

学校だより



4月号

発行人 高山 直也

令和6年 4月9日

白金小学校で育てたい力

校長 高山 直也

令和6年度が始まりました。お子様の新入学、進級まことにおめでとうございます。今年は3月が寒かったせいか、桜の花が新学期に満開を迎えます。新しい門出を桜の花が彩ってくれ、華やかなスタートとなりました。

今年度本校は、昨年より1クラス多い、24学級のスタートとなりました。また149周年の年でもあり、一世紀半の節目が近づいてきました。東京都で最古参の部類に入る伝統を守りつつ、これまでも白金小学校は、様々な取り組みで時代をリードしてきました。今年10月には、学校情報化・ICT教育を推進する、日本教育工学協会(JAET)の全国大会会場となっており、国が推し進める、タブレットを使用した「個別最適な学び」の実践校として研鑽を積み、全国に発表します。



こういった教育DXの新たな学びを手段として取り入れ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」をリンクさせながら、子供たちに、『自ら学び、協働して課題を解決しようとする力』を育てていきたいと考えています。その力は、やがて自分を取り巻く社会や人間関係を、よりよくしていく姿勢・行動につながるかと確信しています。またそういう営みこそが、本校の教育目標でもある、『信頼と尊敬の得られる人間』に近づくのではないのでしょうか。

時代は戦争や紛争、環境や人権の課題に揺さぶられています。白金小学校で学ぶ子供たちが、協働して課題を解決する力を付け、互いの幸せを循環させる場や環境をつくる人になってほしい。今年度、白金小学校は、

人間、地球、平和を大切にし、持続可能な社会の創り手となる人材を育てる学校



を掲げ、【人権】・【SDGs・学ぶ力】を核として教育活動を行っていきます。前述した様々な学びの方法を取り入れながら、体験・経験も大切にしていきます。学校と保護者の皆様、そして地域の皆様で“協働”し、未来の社会を創る子供たちへの種まきを、一緒にしていきましょう。今年度もよろしくお願いいたします。

思いやりのある白金の子へ

生活指導主任 清水 大翼

新しい一年の始まりです。子供たちの毎日が豊かで実りある一年になるために、本校には「白金スタンダード」というきまりがあります。集団生活での学びですので、みんなが安心安全に過ごすためには、思いやりをもってきまりを守ることが第一歩となります。例えば、「廊下は歩きましょう」「教室での遊び方を考えよう」「学習の時間を守ろう」など、子供たちが怪我をしないため、気持ちよく学習を進めるためには大切なことです。これらのきまりはすべて「相手への思いやり」から始まります。物を借りたら「ありがとう」、突然ぶつかってしまったら「ごめんね」がすぐに気持ちを込めて素直に言える思いやりの心を育てていきます。自分勝手な行動や言動のかけには、悲しんでいたたり、我慢していたりする人がいることに気づき、「白金スタンダード」を理解し、思いやりの心をもって行動できる白金の子になれるよう指導して参ります。

昨年度は、下校中や下校後のトラブルも多々見受けられました。お子様の通学路や持ち物の様子、携帯メールでのやり取り等を定期的に確認し、ご家庭でもお話していただければ幸いです。

また、学校生活の中では子供たちが様々な悩みに直面することもあるでしょう。そんな時には、担任以外にも養護教諭、スクールカウンセラーなどに相談することもできます。お子様の成長について、保護者の皆様のご相談も可能ですので、ご活用ください。子供たちが安心安全な学校生活が送れるよう全力で取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いいたします。